

2025 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/全学共通科目/全学共通科目 : /Program-wide Subjects/Program-wide Subjects	年次/Year	/1 年次/1 年次 : /1st Year/1st Year
課程等/Program	/基盤教養科目/人間教養科目(2023 年度以前入学者) : /Liberal Arts/Liberal Arts(Course for students enrolled before 2023 academic year)	学期/Semester	/前学期/前学期 : /First term/First term
分類/Category	//基本教養 : //Foundations in Liberal Arts	曜日時限/Day & Period	/月 5 : /Mon.5

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10111504			
科目番号 /Course Number	10160169			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義 : Lecture			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	アジアの歴史と文化 : Asian History and Culture			
担当教員名 / Instructor(s)	/(井上 直樹) : INOUE Naoki			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher			
科目ナンバリング /Numbering Code	B_PS1210			

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	「アジアの史的動向と日本の歴史・文化」 日本は古代から現在にいたるまで、朝鮮半島や中国大陆で興亡した諸王朝・国家と交流し、たえずそれら諸王朝・諸国家から直接的・間接的な影響を受けてきた。そのため、それら地域の史的動向を学ぶことは、日本の歴史・文化を巨視的な視点から理解するためにも必要不可欠となろう。 そこで、本講義では、日本史上の重要な事件・出来事を、当該期の中国大陆・朝鮮半島の動向、日本との関係などから論述し、東アジアのなかにおける日本史の史的動向を明らかにすることを目標とする。
英	

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	日本史上の重要な事件・出来事を、当該期の中国大陆・朝鮮半島の動向、日本との関係などから論述し、東アジアのなかにおける日本史の史的動向を明らかにすること
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	
英	

授業計画項目 Course Plan			
No.		項目 Topics	内容 Content
1	日 英	第 1 回	ガイダンスー東アジアと日本
2	日 英	第 2 回	奴国と漢帝国ー前 3～2 世紀の東アジア
3	日 英	第 3 回	卑弥呼と魏ー3 世紀の東アジア
4	日 英	第 4 回	石上神宮の七支刀と百済ー4 世紀の東アジア
5	日 英	第 5 回	『広開土王碑』と倭ー5 世紀初の朝鮮半島
6	日 英	第 6 回	倭の五王の世界ー5 世紀後半の東アジア
7	日 英	第 7 回	聖徳太子の対外関係ー隋の中国統一
8	日 英	第 8 回	遣唐使派遣ー唐帝国の興亡
9	日 英	第 9 回	平安京の外国人使節ー渤海・新羅と日本
10	日 英	第 10 回	元寇来襲ーモンゴル帝国の世界
11	日 英	第 11 回	倭寇跳梁跋扈ー15・16 世紀前半の朝鮮と日本
12	日 英	第 12 回	秀吉の朝鮮侵攻ー16 世紀の東アジア
13	日 英	第 13 回	江戸時代の対外通交ー17 世紀の日本と朝鮮
14	日 英	第 14 回	近代日本の対外政策ー19・20 世紀の東アジア
15	日 英	第 15 回	戦後の日本と朝鮮ー朝鮮戦争と冷戦と在日 まとめ

履修条件 Prerequisite(s)	
日	
英	

授業時間外学習（予習・復習等） Required study time, Preparation and review	
日	講義をふまえて、関連分野の書籍に目を通し、その学習成果を期末レポートとして提出することが求められる。 本講義に対しては、67.5 時間の予復習に充てる自己学習時間が必要である。
英	

教科書／参考書 Textbooks/Reference Books	
日	とくに指定しない。授業中にプリントを配布し、参照すべき文献などを適宜指示する。 参考書 岡本隆司『世界史序説――アジア史から一望する』ちくま新書、2018 年 渡辺信一郎『中華の成立』岩波書店、2019 年
英	

成績評価の方法及び基準 Grading Policy

日	出席が6割以下のものは単位を認めない。平常点（40％）および期末レポート（60％）により評価する。
英	

留意事項等 Point to consider	
日	
英	